

本を伝える。 本で伝える。

講師：井出彰



民話、昔話のない文化は寂しい。それらの多くは語り部によって伝えられてきた。口承、伝承。今、そのような人たちは少なくなるばかりで、それを補うものは、活字であり、本。それを書承と名付けてみた。希有の採話者、『遠野物語』の佐々木喜善と小泉八雲の妻・セツらの例をとり、書承文化を説く。

本の販売
サイン会
あり！

PROFILE

井出 彰 いで・あきら

1943年、神奈川県生まれ。早稲田大学文学部卒業。
1967年『日本読書新聞』に入社、のち編集長を務める。
出版社勤務を経て『図書新聞』に編集長として入社。
現在、図書新聞相談役。小説家、エッセイストとして、著書に『精進ヶ池へ』（第三回小島信夫文学賞奨励賞）、『伝説の編集者・巖浩を訪ねて』、『里川を歩く』、『休日、里川歩きのおすすめ』、『地上の人々』、『書評紙と共に歩んだ五〇年』、『東京発 遠野物語行』など。



開催日時

平成 30年 **9月9日(日)**
13:30~15:30

会場

塩尻市市民交流センター
(えんぱーく)3階多目的ホール
定員 60名(先着順)

申込方法

申込開始 8/5(日)~

- ①本館総合カウンター
 - ②電話(0263-53-3365)
 - ③Eメール tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名「9/9 本の寺子屋申込」
- 本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)、2 代表者電話番号、
3 お住まいの地区、4 この講演会を何で知ったか(新聞、広報など)